

13 データ利活用型スマートシティ推進事業への支援について

本市では、人口減少と少子超高齢社会が進行する中であっても、市民が安心・安全に暮らせるまちづくりを実現するため、国の情報通信技術利活用事業費補助金を活用し、センサーが収集する人や物の動きなどの情報を集約するネットワーク網とデータベースで構成される「富山市スマートシティ推進基盤」を整備するとともに、大学やインフラ事業者、民間ボランティア団体等から組織する協議会を設置し、産学官の枠を越えた基盤の利活用ならびに収集した情報をビッグデータとして活用することについても検討を始めたところであります。

つきましては、**富山市スマートシティ推進基盤の利活用促進のため、データ利活用型スマートシティ推進事業への支援**について格段の配慮をお願いします。

- 1 事業年度 平成30年度～令和5年度
平成30年度 富山市スマートシティ推進基盤構築
令和元年度～令和5年度 富山市スマートシティ推進基盤の利活用促進
- 2 総事業費 425百万円
(1) 富山市スマートシティ推進基盤構築事業
219百万円
(2) 富山市スマートシティ推進基盤運用保守業務
206百万円(41.2百万円/年×5年)
- 3 受信アンテナ設置箇所
98箇所(富山市域人口カバー率98%)
- 4 主な取組内容
 - ・こどもを見守る地域連携事業
 - ・消雪設備自動運転装置監視事業
 - ・水道スマートメータによる検針困難地域解消事業
 - ・スマートシティ基盤の民間利用に向けた実証実験
 - ・新たなセンサーデバイスの開発支援